

岩瀬文庫コレクション

寒天藻類

(165—41) 1冊

岩瀬文庫学芸員 林知左子

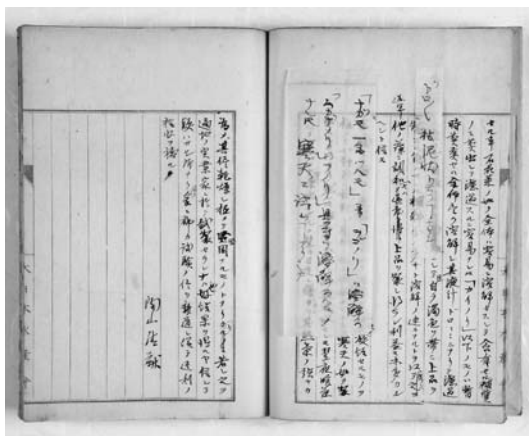
明治のころ、寒天は日本独自の特産品で、主要な輸出品のひとつでした。本書は、寒天の原料として「石花菜（テングサ）」以外の海藻も利用できることを研究し、製品化を勧める報告書です。著者は陶山清猷、詳伝は不明ながら、大日本水産会（明治15年創立。現在は農林水産省所管の社団法人）の会員です。

三重県志摩郡（現在の鳥羽市・志摩市の一部地域）の沿海に繁茂する「ユイキリ」が寒天の原料として使えることを発見した著者は、土地の人に利用を勧めますが、地元ではごみ同然の扱いの海藻だったため誰も取り合いません。しかし、1人だけ著者の話を信じた人が寒天製造に成功したことで事態は一転、皆こぞってユイキリを採取、利用するようになりました。さらに各地の実業家

から「三重県以外でも代用になる海藻はあるだろうか」と問い合わせを受けた著者は、エゴノリ、イギスなどその土地で採れる海藻を紹介し、利用を勧めています。

年々寒天の国際需要が増大する中であって、原料テングサの枯渇を防止し、かつ地域の経済発展に寄与できるの思いからです。

後半には、女の子が口の中で鳴らして遊ぶ海はおずき（巻き貝の卵嚢）を商品化すべく、大量捕獲販売ルート確立の方法も考察されています。明治ニッポンの殖産興業への熱意にあふれた一書です。



▶本書はただいま開催中の岩瀬文庫企画展「こんな本があったー」岩瀬文庫平成悉皆調査中間報告展10」に出品中です。

キッズアルバム



永谷 遥希くん
(米津町)

平成22年10月生まれ
いつも元気の遥希。これからも遥希の笑顔を見せようね♡



荒川 奈々ちゃん
(一色町)

平成23年3月生まれ
奈々が元気なだけでみんな幸せだよ♡ありがとね。2歳おめでとう。



中西 昊くん
(国森町)

平成22年10月生まれ
元気100倍！パワフル昊くん！！たくさん笑って泣いて大きくなあれ。



鈴木 李望ちゃん
(吉良町)

平成23年8月生まれ
おてんば娘のももちゃん♡元気でかわいい笑顔を見せてね♪



杉浦 唯花ちゃん
(熊味町)

平成23年8月生まれ
いつもニコニコ笑顔の唯花♪たくさんの幸せをありがとう♡



原田 紗玖くん
(国森町)

平成22年10月生まれ
毎日元気いっぱいな紗玖☆パパとママの宝物♡ずっと笑顔でいてね。



川添 莉音ちゃん
(長縄町)

平成22年9月生まれ
お兄ちゃんとお姉ちゃんが大好きな莉音。明るく元気に育ってね。



長谷 旺亮くん
(吉良町)

平成22年9月生まれ
わんぱくだけどシャイな旺亮♡よく遊んで、元気に育ってね♪

